

長岡発! 広告宣伝・ブランディングの現場からお届けします。

“石を拓く” このコンセプトを デザインの中心に

紺商株式会社Webサイトリニューアル

創業文久年間、十日町で産声を上げた紺商株式会社が7月にWebサイトをリニューアルしました。

石を美しく蘇らせ、石の未来を切り開く紺商の科学は常に奥深く、独自の知識と開発力を感じさせます。

サイト上では石材用保護剤イシノールシリーズ・石材用洗剤イシクリーンシリーズを中心とした商品が多く閲覧できる他、ソリューション別の商品紹介、会員ページからは独自のノウハウを得ることができます。

「産業界のケミカルパートナー」を目指し、何より人間と人間の付き合いを特に重んじる瀧澤社長は、いつも中心は人であると語られています。今後は日本はもとより、世界へ紺商のブランド力が情報発信され、国際的企業に発展されていかれることを願っています。(村上)



<http://www.konsho.co.jp>





時代1

イベント

高知県紙の町「いの町」と小国和紙「わらぶ」の交流が実現。

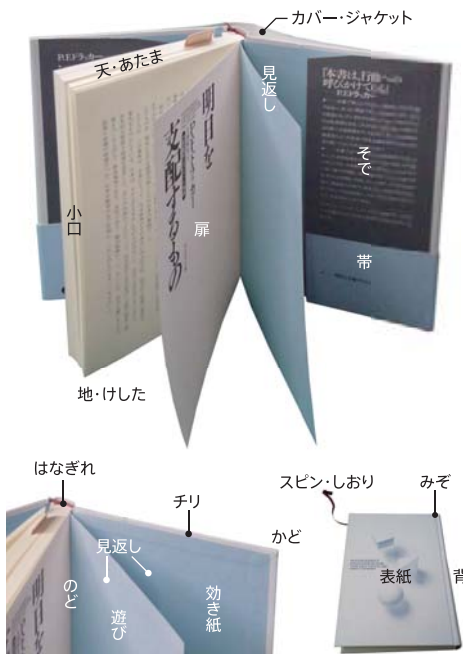
8/21(日)「紙」デザイン塾にて講演。

高知県いの町で、「紙」デザイン塾が開催されました。いの町は「紙の町」として、土佐和紙や薄い紙を漉く生産地として有名です。地元の紙を使って新しい商品の開発を行い、雇用促進につなげるための講座です。8/21に小国和紙を使った「わらぶ」の商品開発の現状を講演してきました。いの町の紙すきの深い歴史や技術、また、地域おこしに想いを込める人たちとふれあうことができ、これからの商品開発に役立つ貴重な体験となりました。(山本)



上:「紙」デザイン塾の募集チラシ。土佐和紙に印刷されています。
左:「紙」デザイン塾での講演風景。

企画のツボ



名前を知ろう!

Vol2.本の部分の名称

72号で紹介した「紙の折り方の名称」に続き、今回は「本の部分の名称」をお伝えいたします。上製本と呼ばれる、表紙の厚い長期保存に耐える本を例にしました。名前の由来がそのまんまのもあれば、由来が不明なものまで、色々な呼び方がありますね。とくに“スピン”の由来に関しては、英語の「spin」からきているだとか、本の背を意味する「spine」からきているなど諸説ありますが、正しくは判らないようです。ちなみに、カバー・表紙・帯装丁資材の選択などを含めデザインする事を装丁デザインと呼びますが、最近ではエコを意識して、帯が巻いてあるように見せた装丁デザインの本も出たようです。私みたいに帯が捨てられない人にも嬉しいデザインですね。(永井)

ちょっと一服

新潟県の特産
お米にまつわる話



暑さが徐々に和らぐ頃、稲刈りの時期が訪れます。コメ大国日本に伝わる稲紋も、その数およそ200種類以上が存在するそうです。



左回り稲の丸

ちなみに先日米袋を眺めていたら、家紋ではありませんがお米にまつわるマークを発見しました。この意味わかりますか?



左から順に、一等米、二等米、三等米を示すマークです。こうして並べてみるとシンプルな表情に愛らしさすら感じます。包装紙の柄になったら、ちょっと可愛いかもしれませんね。(後藤)

次号、「NAGAOKAてん」再開です!

経営者セミナー

「経営者セミナー」
第11回9月21日(水)「経営のすすめ」

「スペシャル講演会」

講演日/10月5日(水)
講演/15:00~17:00、懇親会/17:15~18:45
会場/ホテルニューオータニ長岡
会費:講演会/無料、懇親会/2,000円(税込)
お問合せ:Tel.0258-36-2685 担当/藤田(秀)
地域密着型「法律経済総合事務所」を目指します。



編集後記



お盆休みに名古屋に行って味噌煮込みうどんを食べてきました。2,000円とやや高値でしたが濃い目の赤味噌とまろやかな半熟卵がGOO!(加藤)

Neo Standard Design Production

NEOS

ココロを動かすデザインで、中小企業のブランディングをお手伝いします

株式会社 ネオス
新潟県長岡市三和 3-121-5 〒940-1151
TEL.0258-33-8836 FAX.0258-33-8837

下記のURLからニュースレターのPDFデータをダウンロードできます

www.neos-design.co.jp

E-mail: info@neos-design.co.jp
(ご要望・ご感想は…担当 ニツ家まで)